

新しい風になれ

新しい校舎を探検したり、新しい友達と遊んだり、新しい図書室で読書をしたいと思っています。楽しく勉強できる学校になったらいいなと思っています。(三壽くん)



●上水田小学校 (写真左から)

3年生 三壽 開理くん
5年生 小田 康弘くん
2年生 宮田 彩加さん

友だちをたくさん作って、みんなで話をするのが今から楽しみです。授業ではたくさん意見を聞いて、私もたくさん意見を言いたいです。
(久保さん)



●皆部小学校 (写真左から)

5年生 片岡 萌さん
2年生 岩崎 音々さん
2年生 坂本 順太くん
5年生 久保 加菜恵さん

小学校もこども園も人数が多くなるので、皆で切磋琢磨して育ってほしいですね。
(矢田部さん)

ぱい遊びたい。(石井さん)
(黒田さん)
しいな。(藤本さん)

●コスモスドーム (写真左から)

矢田部 浪枝さん(上水田)
宮田 好子さん(上水田)
石井 文恵さん(上水田)



北房小学校での楽しみは運動会です。大人数でする運動会は初めてだからです。最高学年の6年生になるので、自覚をもって下の学年を支えていきたいと思います。(新田さん)



●水田小学校 (写真左から)

5年生 金丸 楓果さん
5年生 谷口 剣成くん
5年生 新田 沙月さん

子どももたくさんの方達と一緒に学びがあると思います。
(長田さん)



●阿口地内 長田 準治さん(阿口)

新しいこども園や小学校を子どもたちはとても楽しみにしています。子どもたちが期待している分、親としては不安もありますが、たくさんの子と交流する中で思いやりのある子に育って欲しいと切に願っています。(上田さん・大森さん)



●子育て広場
ほくぼうほたるっこ

(写真左から)
上田 桜翔くん
上田 彩華さん(上水田)
大森 有香さん(下中津井)
大森 みらいちゃん

北房小学校を元気が良く仲の良い学校にしたいです。中津井小学校も仲の良い学校なので、今の6年生を見習いたいです。(中嶋さん)



お姉ちゃんと一緒に学校に行くのが楽しみです。(的場さん)

制服のスカートが可愛かったです。早く学校に行きたいな。(大月さん)

●北房水田保育園
(写真左から)

年長 的場 香弥さん
年長 大月 晴賀さん



体育がすごく楽しみです。(黒田くん)
みんなでサッカーがしたいな。(吉田くん)
テストで100点がとりたい!(角くん)

製作が楽しみ。みんなでいろいろ作りたい!(山本くん)
友達いっぱい増やしたい。(塚本くん)
新しい友達となわとびをしたい。(片岡くん)

●皆部幼稚園
(写真左から)

年中 山本 翔くん
年中 塚本 悠くん
年中 片岡 志道くん



●北房中央保育園
(写真左から)

年長 黒田 颯志くん
年長 吉田 龍希くん
年長 角 颯真くん



小さいお友達ともいつ
友達何人になるかな。
友達が増えるからうれ

●上水田幼稚園
(写真左から)

年中 石井 和佳奈さん
年中 黒田 小夏さん
年中 藤本 夕夢羽さん



新教育環境づくり 風は西から

真庭市と真庭市教育委員会は、子育て、教育の分野での魅力を高め発信し、学校と地域の持続可能性を高めていくことを目的に、新教育環境づくりに取り組んでいます。今後の真庭市の教育環境について三ツ宗宏教育長に聞きました。

真庭市から全国へ向けて 風を吹かせたい

「風は西から」という言葉には、西日本に位置する真庭市から全国へ向けて「新教育環境づくり」という風を吹かせたいという思いを込めています。

平成27年から始まった北房地域の新しい子育て教育環境づくりは、平成30年4月に「北房子ども園」開園、「北房小学校」開校という形で節目を迎えます。

「子育て環境の質が高まる」、「教育の質が高まる」、「地域が元気になる」、そして「真庭市は元気だぞ、子育てと教育が充実していく安心して過ごせるぞ」という地域と教育が共に育つ魅力的な真庭市を発信していく時です。

西からの風が吹き始めています。

真庭市教育委員会
三ツ宗宏 教育長

立ち上がる地域

地域社会と同じように教育現場も人口減少を始めとするさまざまな課題に直面しています。子どもの数が維持され、元気な声が校内に響き、地域もまた活気にあふれている。そんな地域社会の姿は多くの人の願いです。それを実現していくためには、地域に根ざした教育環境を整える必要があります。

真庭市には現在小学校24校と中学校6校があり、各学校ごとに児童数・生徒数、地域との関係性などといった実情は異なっています。

その学校にどんな教育環境が必要なのかは、その地域の人たちと共に考えなければなりません。地域に根ざした教育環境を整備するためには、地域の人たちと教育現場とが目指すべき地域の将来像を共有することが何より大切ですが、一朝一夕にはできるものではありません。まず地域と教育現場が目指すべき将来像とはどんなものなのか互いに議論を重ねることが必要になります。そこでは願いと不安が交錯し、思いが一つにならないこともしばしば起ります。

新しい教育環境を創るということは、挑戦と決断の連続です。だからこそ、自分たちで創り上げた教育環境というものは、子どもにとつても大人にとつ

ても、大きな誇りになります。西から吹く風は、こういった「地域の誇りを創る風」でもあります。

北房地域の動き

北房地域では「暮らしの連続性」と「育ちの連続性」をテーマに地域参画による新しい教育環境づくりに挑戦しています。地域住民や小中学校長らで組織された北房地域新教育環境準備委員会は、何もかもが手探りの中始まりました。委員の皆さんは何度も集まって議論を重ねています。また地元の人たちも教育環境について話をされています。新しい教育環境はこうした人と人のつながりの中で一つ一つ形になってきました。

今は開校に向けて準備をしている段階ですが、開校はゴールではなくスタートです。より地域に根ざした教育環境としていくためには今以上に保護者、地域、学校が思いを共有し、高め合つてていくことが必要です。地域総がかりで子どもを育む教育という内実をつくるのは、これから歩みに引き継がれます。

真庭市全域において子どもたちに対する地域学習の機会は、かつてないほど多く、出前学習、ボランティアなどの形態はさまざまですが、さらに進化、強化をさせていきたいと考えています。

中和地域を例にあげると、小学校を盛り上げようと保護者を中心とした地域の人たちが「中和いきいきサポート・リズ俱乐部」というボランティア団体を結成し、積極的に活動していますが、さらなる進化を求め、保護者が「コミュニケーション・スクール」の勉強会を開催するなど、模索を続けています。

地域は子どもたちに考える機会を与えることができる最高の学びの場です。地域参画があれば、「郷育」を核として「未来を開く力」を育むことが可能です。

真庭市で教育を受けた子どもたちが、将来、それぞれの能力を発揮し、社会を支えていく。そんな未来を共に描きましょう。

「未来を開く力」を 真庭の子どもたちに

コミュニティ・スクール

真庭市ではまだ導入されていませんが、地域と学校が一体となって特色ある学校づくりを進めるための「学校運営協議会制度」を導入した学校のことです。協議会は、学校と地域の共通目標を設定し共有します。

問 学校教育課 橋本 TEL0867-42-1087

議論を重ね 北房を一つに

北房の新しい子育て教育環境づくりのお手伝いができれば、と思い準備委員会に参加しました。2年前に始まった準備委員会の開催は、すでに20回を超えていて、開校までには30回近くになるのではないかでしょう。委員会では多くの検討課題について「北房を一つにする」という意識をもって熱心に議論を重ねています。またその課題を整理する過程で、

委員の皆さんとの教育に対する思いの一つ一つを尊重することが大切だと思っています。もともと北房は一つの中学校区であり、地域の一体感が醸成されました。「北房こども園」、「北房小学校」の名称もその思いの表れだと思います。子どもの人数が減り続けている今、教育環境を整備するということは、時代の流れとして地域の皆さんに理解してもらえたのではないかでしょうか。委員会で常に真摯に積極的な議論を行つたからこそ、地元や保護者の皆さんとの協力も得られたのではないかと思います。

北房小学校 開校間近

北房小学校の開校がいよいよ間近に迫ってきました。平成27年9月30日に第1回準備委員会が開催された後、「北房小学校誕生」に向けた話し合いが実に2年数ヶ月にわたつて行われています。全国にも誇れるすばらしい教育環境が整備され、北房地域から新しい子育て教育環境づくりへの取り組みが、今まさに始まろうとしています。

準備委員会学校教育部会は、子ども達が安心して楽しい気持ちで通うことができる学校づくりを目指して、様々な教育計画策定に関わってきました。北房小学校は、就学前教育と義務教育を円滑につなぐ地域密接連携型の小学校としての使命を持ち、新しい教育を推進するモデル校として平成30年4月から新たな歴史を刻んでいきます。そして、何より願うことは北房小学校に通う子ども達が「ふるさと北房を愛し、未来に向かって輝く子ども」に育つていってほしいということです。



真庭市立水田小学校
藤森貴広 校長



北房地域新教育環境準備委員会
迫田 淳 委員長

～新教育環境に向けて～

北房で平成30年4月に始まる北房の新教育環境。同一敷地内に北房小学校、北房こども園、そして放課後児童クラブを併せ持っています。この教育環境の準備には地域の多くの人たちが携わっています。今回はその中の4人の方に新しい教育環境への思いを伺いました。

北房地域初の こども園

今まで別々だった幼稚園と保育園が、4月から一緒になり園児も増えます。発表会や運動会では今までよりダイナミックな表現が可能になります。子どもたちの可能性も保育の幅も広がるものと思っています。

すでに北房地域の各園、各小学校で新教育環境を意識した連携が行われています。また、幼稚園と保育園

の職員で合同研修会を開いたり、保育ビジョンや計画を作ったりするなど、子どもの育ちを大切にする保育ができる園になるよう、また保護者の皆さんと職員が信頼し合える園になるよう願いを込めて準備しています。着々と開園に向けて進んでいます。が、開園後に保護者の皆さんや地域の皆さんと一緒に考えていかなければならぬこともあります。北房地域初のこども園が笑顔あふれる園となりますよう皆さんのお力添えをよろしくお願いいたします。

子どもたちの ための第一歩

現在、北房の各小学校PTAはそれぞれの地域と連携し、3月に行われる最後の卒業式と閉校式、そして新しい小学校の開校に向けて準備を進めています。

日々寂しさは増していますが、新しく始まる北房小学校のスタートが最高の形で切れるように、何度も会議を重ねています。

新しい友達と一緒に学べる事を楽しみにしているようです。

北房地域5校の卒業生がこれまで築いてこられた歴史と伝統を掛け合わせて、今後子どもたちが今以上に輝いていく環境を作つていけたらと思います。

みんなが少しずつ寄り添つた小さな一步を、子どもたちにとつて大きな第一歩にしていきたいです。



水田小学校 PTA
新田治良 副会長



真庭市立皆部幼稚園
福島真喜子 園長